

# 有志の知事による研究会

(データを活用し「交通空白」解消を目指す知事の会)

## 設置目的

- 各地域が抱える課題を解決するため、地域公共交通に関するデータの可視化を進めるなど、**データ等を活用して「交通空白」の解消に向けた取組を進めます。**
- 各地域のベストプラクティスを共有し、多くの知恵と力を結集しながら、**地域住民の持続可能な「移動の確保」**を目指します。

# 課題

日々刻々と変化する県民の需要に施策が対応できていない

なぜ?

- ☑ データ取扱ルール・アクセス範囲が不明確、フォーマットがバラバラ
- ☑ 施策への活用が有効なデータの取捨選択に苦勞
- ☑ アナログデータのため活用されず放置

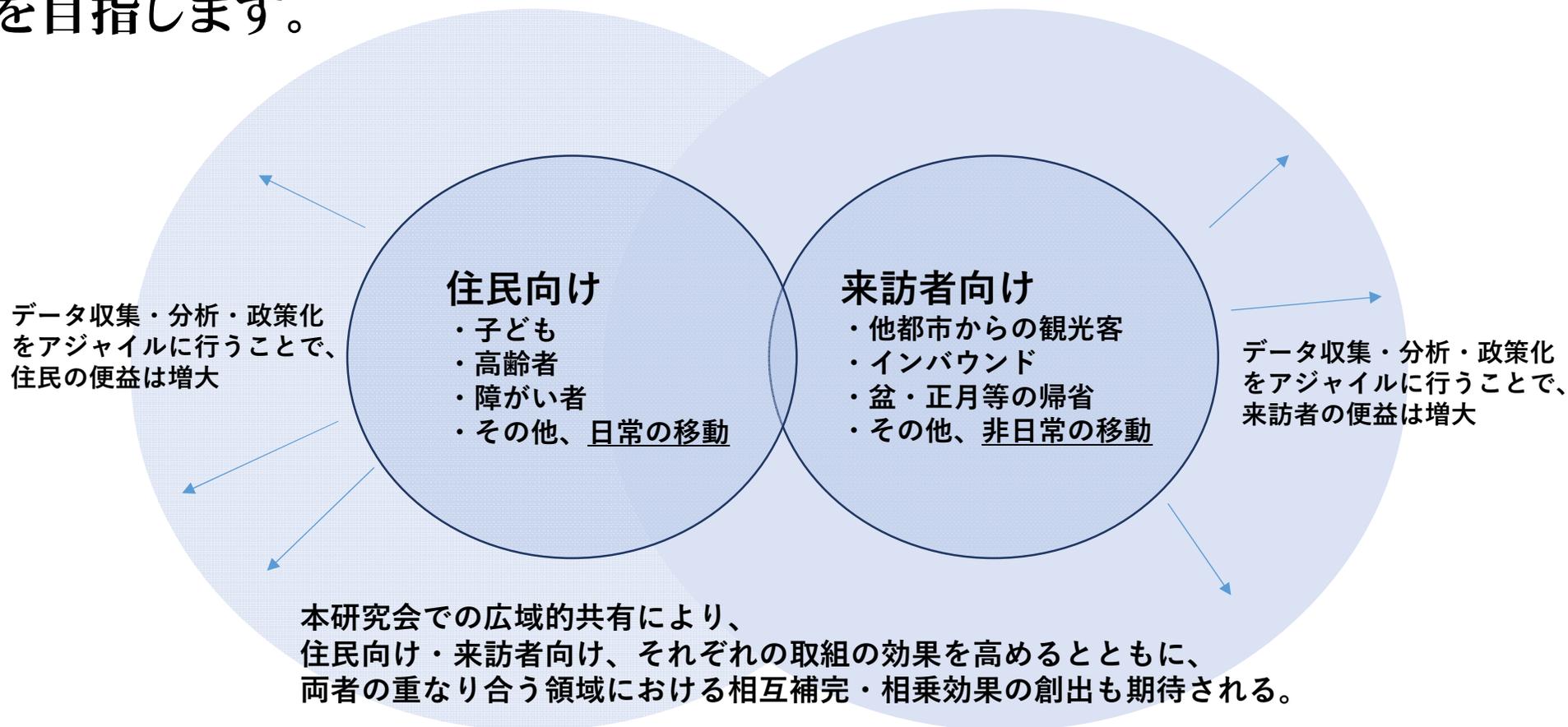


**データに基づいた政策立案ができない**

(「地域公共交通計画」実行時には、すでに目標が陳腐化)

# 「データ収集・分析、そして政策へ」の循環を作り、公共財として共有

本研究会では、参加自治体が具体的事例をもとに構築した「データ収集・分析・政策化」の循環を「公共財」として広域的に共有することで、**施策のさらなる高度化、地域間連携の強化、「交通空白」解消の促進**を目指します。



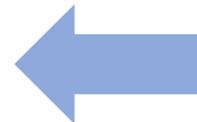
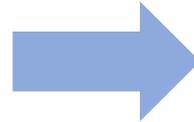
# 具体的な取組（想定）

参加自治体が抱える課題解決の取組を進め、**ベストプラクティスを共有**するなど、**地域公共交通に関する研究を進めます。**

## 参加自治体

- 1 地域の課題設定
- 2 データ収集
- 3 ダッシュボードによる可視化・分析
- 4 地域公共交通計画への反映
- 5 施策・事業への反映

共有



フィード  
バック

## 研究会

- ・ベストプラクティスの共有
- ・検討プロセス、課題の共有
- ・最新のAI・データ技術の活用検討
- ・関係法令・制度の整理
- ・広域連携・共同実証の企画
- ・政策提言（制度・財政・人材育成）

参加自治体が抱える  
課題解決の取組

各地域の進度に応じて開始  
国補助金等を活用



成果の共有  
取組の拡大

交通空白解消 集中対策期間  
(国交省 ~2027)



政策提言  
地域間連携の強化

国施策等に地方の声の反映  
を目指す

# 今後のスケジュール

10/21 中部圏知事会議（参加呼びかけ）  
12月 研究会設立

※以降、

事務レベルの幹事会を年3～4回程度、  
研究会を年1回程度開催



## 研究会への参加予定（R7.10.21現在）



（共同発起人）

静岡県知事 鈴木康友  
三重県知事 一見勝之

（一社）全国自治体ライドシェア連絡協議会  
国土交通省・中部運輸局（オブザーバー）